

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和1年5月30日(2019.5.30)

【公開番号】特開2017-11682(P2017-11682A)

【公開日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-002

【出願番号】特願2016-86620(P2016-86620)

【国際特許分類】

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 04 B 7/04 (2017.01)

【F I】

H 04 J 11/00 Z

H 04 B 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月17日(2019.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

OFDM(Orthogonal Frequency-Division Multiplexing)方式を用いる送信方法であって、

一または複数の端末のそれぞれに対して複数のサブキャリアで構成されるリソースを割り当てて第1フレームを構成し、

前記第1フレームを送信し、

前記第1フレームは第1プリアンブルと第2プリアンブルと第1データシンボルを含み、前記第1プリアンブルのサブキャリア間隔である第1間隔は前記第2プリアンブルのサブキャリア間隔である第2間隔の4倍であり、前記第1データシンボルのサブキャリア間隔は前記第2間隔であり、前記第1データシンボルは前記一または複数の端末のそれに対する送信データを同時に伝送し、

前記第1間隔は前記第1フレームとは異なる第2フレームが含む第2データシンボルのサブキャリア間隔と等しく、前記第2フレームの前記第2データシンボルが含むデータの送信に用いるデータサブキャリアは複数のリソースに分割されずに一つの端末に対するデータの送信に用いられる、

送信方法。

【請求項2】

OFDM(Orthogonal Frequency-Division Multiplexing)方式を用いる受信方法であって、

第1フレームを受信して第1受信信号を取得し、前記第1フレームは一または複数の端末のそれぞれに対して複数のサブキャリアで構成されるリソースを割り当てて構成されており、前記第1フレームは第1プリアンブルと第2プリアンブルと第1データシンボルを含み、前記第1プリアンブルのサブキャリア間隔である第1間隔は前記第2プリアンブルのサブキャリア間隔である第2間隔の4倍であり、前記第1データシンボルのサブキャリア間隔は前記第1間隔であり、前記第1データシンボルは前記一または複数の端末のそれに対する送信データを同時に伝送し、

前記第1受信信号の前記第1プリアンブルに含まれる第1制御情報を前記第1間隔に応

じたFFTを施して復調し、前記第2プリアンブルに含まれる第2制御情報を前記第2間隔に応じたFFTを施して復調し、前記第1データシンボルのうち自装置が宛先であるデータが送信されているリソースを前記第2間隔に応じたFFTサイズのFFTを施して復調し、

前記第1間隔は前記第1フレームとは異なる第2フレームが含む第2データシンボルのサブキャリア間隔と等しく、前記第2フレームの前記第2データシンボルが含むデータの送信に用いるデータサブキャリアは複数のリソースに分割されずに一つの端末に対するデータの送信に用いられる、

受信方法。

【請求項3】

OFDM(Orthogonal Frequency-Division Multiplexing)方式を用いる送信装置であって、

一または複数の端末のそれぞれに対して複数のサブキャリアで構成されるリソースを割り当てて第1フレームを構成するフレーム構成部と、

前記第1フレームを送信する送信部と、を備え、

前記第1フレームは第1プリアンブルと第2プリアンブルと第1データシンボルを含み、前記第1プリアンブルのサブキャリア間隔である第1間隔は前記第2プリアンブルのサブキャリア間隔である第2間隔の4倍であり、前記第1データシンボルのサブキャリア間隔は前記第2間隔であり、前記第1データシンボルは前記一または複数の端末のそれぞれに対する送信データを同時に伝送し、

前記第1間隔は前記第1フレームとは異なる第2フレームが含む第2データシンボルのサブキャリア間隔と等しく、前記第2フレームの前記第2データシンボルが含むデータの送信に用いるデータサブキャリアは複数のリソースに分割されずに一つの端末に対するデータの送信に用いられる、

送信装置。

【請求項4】

OFDM(Orthogonal Frequency-Division Multiplexing)方式を用いる受信装置であって、

第1フレームを受信して第1受信信号を取得し、前記第1フレームは一または複数の端末のそれぞれに対して複数のサブキャリアで構成されるリソースを割り当てて構成されており、前記第1フレームは第1プリアンブルと第2プリアンブルと第1データシンボルを含み、前記第1プリアンブルのサブキャリア間隔である第1間隔は前記第2プリアンブルのサブキャリア間隔である第2間隔の4倍であり、前記第1データシンボルのサブキャリア間隔は前記第1間隔であり、前記第1データシンボルは前記一または複数の端末のそれぞれに対する送信データを同時に伝送している、受信部と、

前記第1受信信号の前記第1プリアンブルに含まれる第1制御情報を前記第1間隔に応じたFFTを施して復調し、前記第2プリアンブルに含まれる第2制御情報を前記第2間隔に応じたFFTを施して復調し、前記第1データシンボルのうち自装置が宛先であるデータが送信されているリソースを前記第2間隔に応じたFFTサイズのFFTを施して復調する、復調部とを備え、

前記第1間隔は前記第1フレームとは異なる第2フレームが含む第2データシンボルのサブキャリア間隔と等しく、前記第2フレームの前記第2データシンボルが含むデータの送信に用いるデータサブキャリアは複数のリソースに分割されずに一つの端末に対するデータの送信に用いられる、

受信装置。